一〇〇〇号記念プレ企画第三弾

カルタ 写真 で振り返る

大阪歯科保険医新聞の新年号の顔として古くから親しまれている「いろはカルタ」、機関紙に欠かすことができない写真やイラスト。今回は1000号プレ企画第3弾として、大阪歯科保険医新聞で今までに掲載されたカルタや写真、また写真を使用しての企画などを紹介する（編集部）。

新年号の顔
27年続く「いろはカルタ」

'82年１月１日付掲載の第１回「いろはカルタ」

初めて「いろはカルタ」が掲載されたのは、1982年の1月1日号（118号）で、以降27年間大阪歯科保険医新聞の新年号の顔として、27年間休むことなく掲載され続けている。その27年間の歴史を、年代ごとの特徴的な作品をピックアップして振り返る。

（1986年）
・またかまさかのマイナス改定
・老人の涙がにじむ千円負担
・歯周治療なぜに点数ふたつある

（1990年）
・平成の眠りを覚ます参院選たった1回で与野党逆転
・春を呼ぶ東欧諸国の大改革

（1996年）
・老人を介護する気か捨てる気か
・ボランティア瓦れきの中で大活躍

（1998年）
・二割負担文句も言えぬ被保険者
・タンカーのオイル渦巻く日本海
・山一倒れて賭博師達の夢の後

（2004年）
・夢がある阪神今度は日本一
・アメリカについていったらテロの的

（2006年）
・ブッシュがプッシュ「構造改革」
・セレブって勝ち組のことですか？
・欽ちゃんに似てるけど笑えない村上ファンド

（2008年）
・「紙だし」で病気治るかアホ制度
・老人をいじめる制度はもう止めて

写真で見る大阪
「再見・カメラリポート」

機関紙において、紙面のビジュアル効果で大きな役割を果たすものが「写真」である。読者は、写真で現場の情景をリアルに感じとることによって、記事をより身近なものとしてとらえることができる。

大阪歯科保険医新聞では、大阪の街を写真で表現する企画「カメラリポート」シリーズを、1983年から6年にわたって掲載した。1年間ごとに共通のテーマを設定し、3人の撮り手がレンズ越しに大阪を語った。

初年度のテーマは「大阪の橋」。心斎橋（左上）から始まり、淀屋橋・天神橋・難波橋・天満橋など大阪では知らない人はいないだろうという有名なものから、水晶橋・豊里大橋・栴檀木橋などマイナーなものまでつぶさに紹介されている。

その他のテーマとしては、「大阪の渡し船」「大阪の民家」「大阪の鉄道」「大阪の近代建築」「大阪の詩」などを取り上げ、大阪の街や文化の再見を読者に促した。

ビルの谷間から見た心斎橋

創刊記念500号
20人の先生から投稿

協会機関紙は、1993年9月15日付で創刊500号をむかえた。その表紙を飾った写真が左下のものだ。どこの川かなどは明記されていないが、500号をむかえるにあたって歩んできた道跡を船跡に例えて、大阪歯科保険医新聞の光輝ある伝統を表現している。

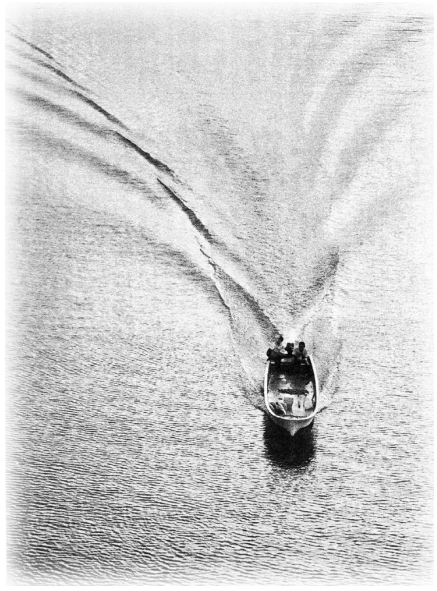
この500号では、特集「協会紙――過去・現在・未来を語る」が座談会形式で掲載され、新聞発行に力を注いでこられた先生方が、協会機関紙の意義や苦労話などについて語っている。部会が夜の12時までにおよび、その後飲みに繰り出すというエピソードは印象深いものであった。

また、機関紙は会員の交流の場でもあり、会員からの投稿記事の重要性などにも触れている。しめに使われた「新聞は生き物みたいなもので、協会が良くなれば新聞も良くなる」という言葉は、1000号をむかえるにあたっても改めて噛み締めたい言葉である。

500号記念号では、20人の先生から投稿記事が寄せられている。1000号でも、積極的な先生からの投稿をお願いしたい。

協会機関紙が2009年2月5日付に創刊1000号をむかえるにあたり、会員の先生方から投稿を募集します。協会機関紙とのかかわりや思い出など、自由にご投稿ください。

【応募要領】
字数は700字程度。顔写真（近影）を同封下さい。薄謝進呈いたします。
※お電話いただければ、原稿用紙・返信用封筒をお送り致します。
（締切は1月8日必着）


創刊500号トップ写真

医科・歯科・協同組合合同
協会親睦ゴルフコンペ
●11月23日（日・祝）
９時44分　スタート（９時10分集合）
●泉ヶ丘カントリークラブ
（阪和自動車道／堺ＩＣより約10km、大阪府堺市南区豊田299-26、℡072-292-8500）
家族・従業員の方もお誘いのうえ、ふるってご参加下さい!!
※参加希望の方は、10月30日（木）までに歯科協会事務局・西野までお申込ください。
歯科協会06-6568-7731

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは　電　話　06-6568-7731　ファクス　06-6568-0564

勤務医対象「新規開業セミナー」
日時　10月19日（日）午前10時～午後1時
会場　保険医会館　定員　50人
講師　芝池高之氏・安田成男氏（㈱ジャパンデンタル）
会費　会員無料
内容　歯科医院の現状から、資金調達の考え、開業地・物件の選定のポイント、広告宣伝の手段と費用までをお話します。講師による個別相談あり（予約制）

北河内・大阪市東部地区主催「オータムセミナー」
「変わる指導・監査体制と医院への締め付け、医療安全管理研修（修了書発行）」
日時　10月25日（土）午後6時30分～8時
会場　天満橋・ＯＭＭビル2階1・2号室（京阪「天満橋」東出口、地下鉄谷町線「天満橋」1番出口から）
定員　100人
講師　社保研究部・政策部講師団
会費　会員無料、未入会者1万円

北大阪・三島地区合同講習会
「強化される指導監査体制―大阪社会保険事務局から近畿厚生局へ」
日時　11月8日（土）午後7時～9時
会場　すてっぷ（エトレ豊中5階）セミナー室1（阪急宝塚線「豊中」駅横）
定員　50人
講師　社保研究部・政策部講師団
会費　会員無料、未入会者1万円

南部・東西南地区合同院長講座
「労基法などの改正点を踏まえた就業規則の作成」（仮題）
日時　11月9日(日)午前10時～12時
会場　保険医会館　定員　40人
講師　桂好志郎氏（社会保険労務士）
会費　会員無料、未入会者1万円

東西南・スタッフ対象講習会
「洗練された接遇・マナー（上級編）」
日時　11月9日(日)午前10時～午後1時
会場　保険医会館　定員　50人
講師　西出知子氏（接遇マナーインストラクター）
会費　3千円

11月度生涯研修
「インプラントの難症例鑑別のポイントとその対応について―すべての患者さんに―」
日時　11月16日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール（保険医会館隣り）
定員　100人
講師　堀内克啓氏（大阪大学歯学部臨床教授）
会費　会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。